



鞆っ子だより



お囃子を聴く会～戸畑祇園山笠がユネスコ無形文化遺産に正式登録～

7月6日(木)に本校体育館にて、天籟寺大山笠のみなさんにお囃子を演奏していただきました。この天籟寺大山笠は、江戸時代後期の1802年(享和2年)、戸畑地区に疫病が蔓延した際に、(天籟寺大山笠は菅原)神社に祈祷したところ成功を収め、このことを喜んだ村人たちが翌1803年(享和3年)に須賀大神(スサノオノミコト)に対し感謝の意を表した祝い山笠を作り、奉納した行事が始まりといわれています。



天籟寺大山笠の主なお囃子は、獅子舞、居神楽、大下り、おおたろう囃子、大上りです。山笠の運行にあわせてお囃子のリズムが変わります。特に、戸畑祇園大山笠は、平成28年11月30日にユネスコ無形文化遺産に正式登録もされ、地域の伝統文化としてだけでなく、世界を代表するお祭りの一つになりました。また、お囃子を聴く会では、

- ・冬のは、山笠はどこにあるのですか？
- ・練習はどのくらいするのですか？ 等の質問が子ども達からでました。

天籟寺大山笠の方からそれら質問に回答をしていただきました。子ども達は、今回の地域の伝統文化に触れる貴重な経験で、今年夏の戸畑祇園山笠への興味関心が高まったようでした。

天籟寺大山笠のみなさん、ありがとうございました。

保育士体験学習



7月5日(水)に5年生の児童が保育士体験学習のために高見の森保育園に行きました。園内では、自分よりも小さな子どもたちに、最初は戸惑う姿も見られましたが、だんだんと慣れるにつれて、小さな子どもたちのお世話をどの児童も優しくていねいにしていました。



園児たちは、鞆ヶ谷小のお兄さんやお姉さんといっしょにお話やお遊びができて嬉しそうでした。ちっともじっとしていない園児たちを前にして、5年生は、日頃の保育士さんたちのお仕事の大変さがよくわかったようでした。この体験を通して、思いやりの心や年下の人に対する接し方を学んでほしいと思います。

ブックヘルパーさんによる
工夫を凝らしたディスプレイ

「よい本」を読むことは、「よい人」と出会うこと!

みなさん、読書をしていますか? 「本」との出会いは、「人」との出会いと同じだと思います。その本を書いた人が、どのようなことを考え、読む人に何を伝えたいのか。また、本に登場してくる人物がどのような考え方や性格の持ち主なのか。文章からいろいろなことを読み取る楽しさを学んでください。同時に、自分が本の登場人物になって、空想の世界を旅したり、冒険したりする楽しさを、読書を通して身に付けてほしいと思います。図書室は、世界中の人たちと出会える場所です!

図書室は、みなさんとの出会いを待っています!

